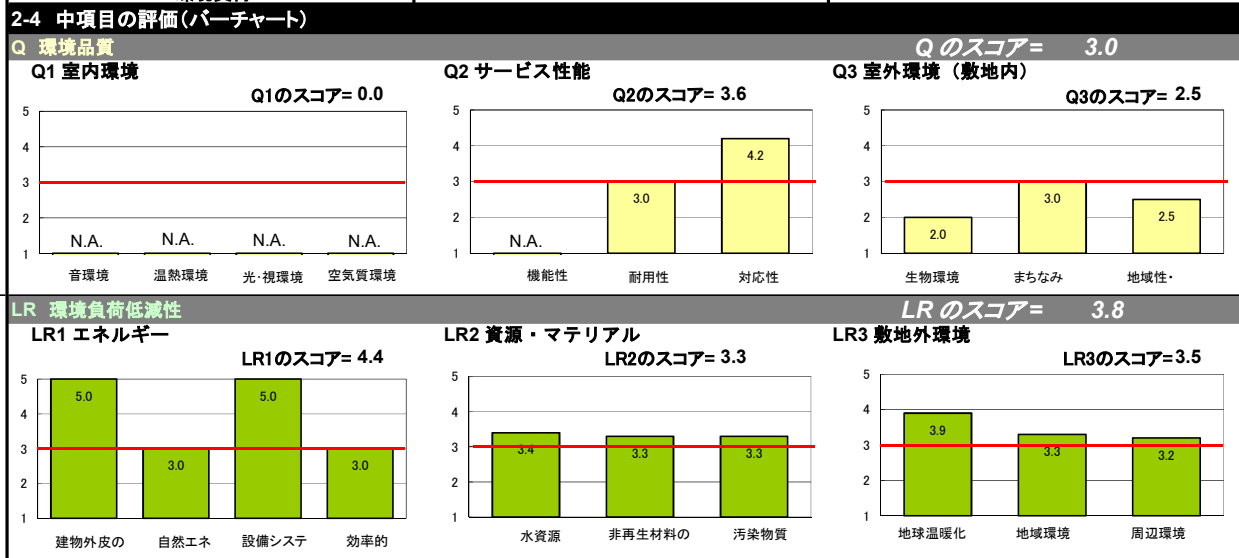
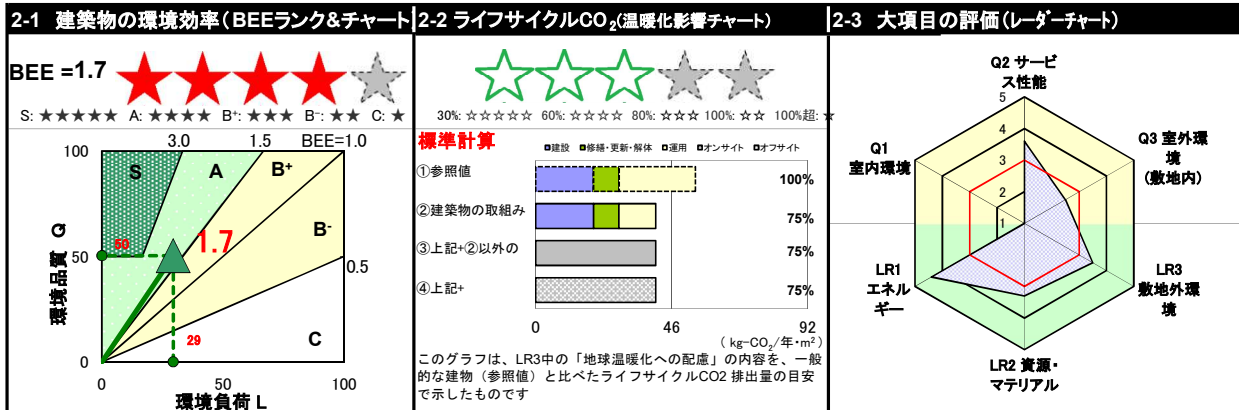


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	DPL厚木森の里Ⅱ	階数	地上4F
建設地	神奈川県厚木都市計画事業厚木市森の里東土地区画整理事業施行地区内保留地4街区3画地仮換地4街区4、5、6、7画地	構造	S造
用途地域	準工業、防火地域 指定なし	平均居住人員	58 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2022年4月14日
敷地面積	13,229 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社東京建築一級建築士事務所
建築面積	6,713 m ²	確認日	2022年4月26日
延床面積	18,479 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社東京建築一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>愛甲石田駅からバスで約16分の準工業地域に、複合用途(倉庫業を営む倉庫・事務所)の事務所を計画した。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>評価対象外</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。 床荷重: 4500N/m²以上</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>特になし。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI=0.67。 BEIm= 0.48、LED照明設備を導入している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LCCO₂排出率75%。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される